

# 東京交通新聞

東京交通新聞社

〒160-0022  
東京都新宿区新宿2-13-10  
電話(代) 03・3352・2181  
編集 03・3352・2182  
出版 03・3352・2183  
販売 03・3352・2184  
広告 03・3352・2185  
FAX 03・3352・2186  
編集発行人・横山敬一郎  
振替口座東京00110-7-52616  
©東京交通新聞社 2016



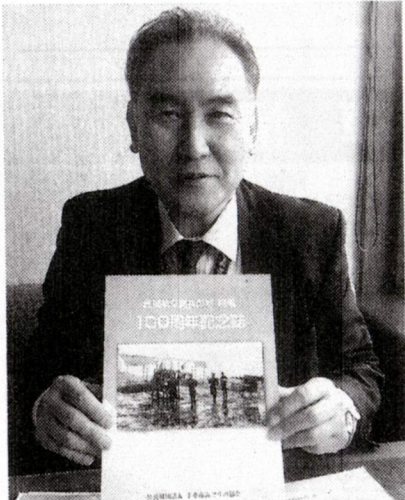
@  
千葉

## 新風土記

地域の一押し

## 「ちば発見伝」は「航空県」

千葉県協組 大矢弘孝さん



民間航空発祥100周年の冊子  
を手にする大矢さん。稲毛に  
「航空神社」を作る計画も進  
めている

「ちば発見伝コンシェルジュ」を名乗る大矢弘孝さん(64)は個人タクシー歴8年。千葉市美浜区に20年住む。持ち前の探求心で郷土の人物や歴史を「発見」し、地域の人々と交流する中で広く世間に伝えたいという意欲が旺盛。故郷は北海道・帯広。その開拓の祖・依田勉三と出生地の伊豆をつなぐ「帯広・松崎交遊倶楽部」代表として顕彰イベントを行うなど、仕掛け人でもある。

大矢さんは千葉を「知られざる『航空県』」と語る。地元「稲毛海岸」は埋め立て地で55年前までは遠浅の海。国産機の初飛行を成功させた奈良原三次が同海岸の干潟を利し飛行場を建設。明治から大正にかけて本拠地とし、弟子の伊藤音次郎らが飛行家として活躍した。奈良原らによ

る「民間航空発祥の地」記念碑が立ち、航空記念館もある。津田沼に住む伊藤の娘さんや稲毛海岸通り商店会元会長との交流を通じ「航空神社」建立を企画する。アルファードを駆って個人タクシー営業する拠点は成田国際空港。戦後、成田で農場主になった伊藤音次郎は空港建設用地の売却契約第1号。「航空県」としての、深い縁があるという。

千葉県は縄文時代の貝塚の密集で日本一。郷土資料館など博物館も多い。千葉県は食の一大産地でもある。房総には有名人も多く居を構え「里山ライフがトレンドになる時代は近い」という。観光の仕事はほとんど入ってこないというが、「千葉をメジャーな観光地にする方法は、移住してきたよそ者・若者らの情熱がポイント」と熱く語る。